

【開催期間】令和4年4月3日～6月29日(88日間)

例年57日間の開催でしたが、1ヶ月延長され88日間となりました。

分散参拝等にご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和4年春 七年に一度の盛儀

善光寺御開帳

前立本尊を拝み、仏縁に触れられる特別な年

「御開帳」とは、寺院で特定の日に厨子(仏像や経巻を納める両開きの扉のついた箱)の帳を開いて、普段は拝むことのできない仏像を公開すること。善光寺の御本尊である「一光三尊阿弥陀如来」は絶対秘仏であり、今までに誰も見たことがありません。その身代わりとして鎌倉時代に造られ、普段は御宝庫に安置されている前立本尊を七年に一度本堂にお遷しし、お参りできるようにするのが、善光寺の御開帳です。

善光寺

日本最古といわれるみ仏を祀る、約1400年の歴史をもつ善光寺。善光寺本堂は国宝に指定されており、木造文化財としては東日本最大の建造物です。

本堂外観(57)写真提供:善光寺



[拝観時間] 本堂…お朝事の1時間前～16:30
経蔵・善光寺史料館…9:00～16:00 境内…終日
[アクセス] JR長野駅よりバスで約10分 [住所] 長野市元善町491
※善光寺参拝券、法要料は別途必要となります。

・前立本尊(まえだちほんぞん)

御開帳の時だけ本堂に安置される、前立本尊。中央が阿弥陀如来、向かって右が観音菩薩、左が勢至菩薩で、ひとつの光背に三跡の仏さまがおいでになるところから、「一光三尊阿弥陀如来」とよべます。

・回向柱(えこうばしら)

前立本尊の右手に結ばれた金糸は、やがて五色の糸にかわり、善の綱となって回向柱に結ばれています。柱に触ることで人々は前立本尊と結縁することができるといわれています。

善光寺境内のご案内

国宝

善光寺本堂

東日本最大級の木造文化財で国宝に指定されています。すべての人々を受け入れる善光寺は多くの人々から親しまれています。



本堂(57)写真提供:善光寺

お戒壇巡り

瑠璃壇床下の真つ暗な回廊を巡り、中程に懸かる極楽の錠前に触れ、真上におられる秘仏の御本尊様と結縁を果たします。往生の際、お迎えに来ていただけるという約束をいただく道場です。

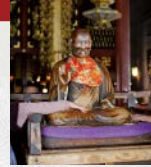
暗闇で体験



お戒壇巡り(57)写真提供:善光寺

びんずる尊者

お釈迦様の弟子、十六羅漢の一人で、神通力(超能力に似た力)がありました。「撫仏」といわれ、病人が自分の体の痛いところと、像の同じ部分をなでるとびんずる尊者の神通力で病が治るといわれています。



びんずる尊者(57)写真提供:善光寺

経蔵

重要文化財

経蔵の内部中央には八角の輪蔵があり、仏教経典を網羅した「一切経」が収められています。輪蔵に付属している腕木を押し回すことで、この「一切経」を全て読んだことと同じ功德が得られるといわれています。

山門

重要文化財

平成大修理において建立当時と同じさわらの板の羽葺屋根に復原されました。楼上には輪王寺宮筆の「善光寺」と書かれた額が掲げられています。



山門(57)写真提供:善光寺

善光寺史料館

善光寺所蔵の什物を展示しています。善光寺信仰の歴史を知るならぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

日本忠靈殿(善光寺資料館)(57)写真提供:善光寺



六地藏

昭和29年に再興された六地藏は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天の6つの世界で我々衆生を救ってくださる菩薩様です。

仁王門

善光寺大地震などにより二度焼失し、現在のものは大正七年に再建されました。この門には善光寺の山号である「定額山」の額が掲げられています。



御開帳期間中の主な行事

回向柱受入式

3月27日(日) 14:00～

御開帳期間中、本堂の前に立つ回向柱が松代から善光寺に寄進されます。



写真提供:善光寺(57)

回向柱建立式

4月1日(金) 13:00～

善光寺木遣りが響く中、古式ゆかしく回向柱が建立されます。



写真提供:善光寺(57)

前立本尊御遷座式

4月2日(土) 15:00～

白装束に身を包んだ男たちが前立本尊の入った厨子を担ぎ、御宝庫から本堂へと運びます。



写真提供:善光寺(57)

開關大法要

4月3日(日) 10:00～12:00

御開帳初日のお朝事で、絶対秘仏となっている御本尊の分身・前立本尊の厨子が七年ぶりに開かれます。



写真提供:善光寺(57)